

2021年3月26日作成

学校法人 湘南ふれあい学園
医療ビジネス観光福祉専門学校
学校長 井上 尚行 殿

学校関係者評価委員会
委員長 山本 大介

2020年度 第二回学校関係者評価報告書

2020年度第一回学校関係者評価委員会の指摘事項改善報告および評価方針の協議を行い、2020年度の振り返り、2021年度事業計画について討議しました内容を下記のとおり報告いたします。

記

1. 評価対象期間 自：2020（令和2）年4月1日
至：2021（令和3）年3月31日

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

開催日時 令和3年3月18日（木曜日） 14時00分～15時30分

会場 医療ビジネス観光福祉専門学校 会議室

<委員>（五十音順）

精松 俊輔 株式会社FMC 情報システム室 室長（当日欠席）
柴田 大司 湘南ふれあい学園・グローリア町田合同ビル管理組合 理事長
武田 英昭 医療ビジネス観光福祉専門学校 元非常勤講師
山本 大介 湘南東部総合病院 総務課、医療マネジメント学科 卒業生

<事務局>

井上 尚行 医療ビジネス観光福祉専門学校 学校長
坂田 誠 医療ビジネス観光福祉専門学校 医療ビジネス学科 学務主任
杉山 行浩 医療ビジネス観光福祉専門学校 医療ビジネス学科 教務主任
川脇 由美子 医療ビジネス観光福祉専門学校 観光学科
天野 光代 医療ビジネス観光福祉専門学校 介護福祉学科 教務主任
佐原 かおる 医療ビジネス観光福祉専門学校 介護福祉学科 専任教員
菊地 真実 医療ビジネス観光福祉専門学校 事務責任者

3. 学校関係者評価委員会報告（別紙のとおり）

4. 今後の予定 2021年度学校関係者評価委員会
第1回 令和3年9月中旬ごろ

以上

I. 指摘事項改善報告および評価方針の協議について

(1) 前回の指摘事項より

自己評価で、特に評価ポイントが低迷している（2点台）について審議。

3-6 志願者状況、定員充足率はどうか（2.12 ポイント）

- ①特に、医療ビジネス学科（医療経営・医療情報管理）の学生募集が苦戦している。
- ②職業イメージという点では、病院総務というより病院総合職といった方が高校生にわかりやすい。実際に学校説明会にも男子学生の参加者が増えている。

【改善内容】

定員充足とはならなかったが、次年度に向け医療ビジネス学科の2専攻のコース名を高校生からも分かりやすく、招待の仕事内容と直結しやすいように変更することとなった。

- ・医療経営専攻→病院事務コース
- ・医療情報管理専攻→メディカルITコース

③高校の指定校推薦の評定平均の見直しの検討。

【改善内容】

他校の状況を考慮し、指定校推薦の評定平均値を3.3から2.8と変更をした。

特に競合校は2.8以上の学校はなく、推薦をしてもらいやすい環境とした。

4-5 教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか（2.82 ポイント）

- ①2020年度より校務分掌を見直し、定期研修会の内容を精査し、改善をおこなっている。

【改善内容】

研修会内容を充実させ、教職員の意識改革を実践した。

5-6 図書室は適切に整備されているか（2.53 ポイント）

- ①使用教室数の関係から、授業の一部として使用していることが発生してしまっている。

【改善内容】

新型コロナの影響で、密を避けた授業展開を実施。学生を少人数で教室分けているのでどうしても教室数が増えてしまっている。図書室として休み時間や放課後は自習に使用できる環境は整っているため学生からは指摘はない。

評価方針については、今年度そのまま変更しないことを確認した。

II. 2020年度振り返りと2021年度の事業計画について

(1) 学生募集

2021年度入学予定者は志願者131名・入学者81名となった（2020年度：志願者174名・入学者117名）。留学生の出願はコロナの影響で入国できる学生が減ってしまったこと、介護の新しいビザ（特定技能）が出来たことで大きく減少した。なお、日本人の入学者は、2021年度は41名（2020年度：51名）であった。

(2) 資格取得

合格率向上を目標として、ゼミ授業や検定対策及び日々の補習授業や資格直前対策期間を設け、集中的に授業を実施したことで、昨年度と同様一定の成果を挙げることができた。その結果、各学科・専攻の一人あたりの平均資格取得数および取得率は以下のとおりである。

(() 内は学科専攻内での学生が取得した最大取得数)

・医療ビジネス学科	医療経営専攻	2年	10.5個	(17個)
	〃	1年	5.5個	(6個)
	医療情報管理専攻	2年	3.8個	(7個)
	〃	1年	3.2個	(4個)
・観光学科	トラベル・交通専攻	2年	7.4個	(10個)
	〃	1年	5.5個	(8個)
	ホテル・ブライダル専攻	2年	11.6個	(17個)
	〃	1年	8.5個	(12個)
	国際総合専攻	2年	日本語能力試験 N2,N3 取得者 70.8%	

(3) 学生支援

①ふれあいグループへの入職

すべての学科からグループへの入職を果たした。留学生クラスを除く 61 名のうち 26 名がグループに入職しており、就職希望者に対して 46.4%に達した。

2020 年度 ふれあいグループへの就職

介護福祉学科	15名中	12名
医療ビジネス学科	12名中	11名
医療情報管理	8名中	2名
観光学科	19名中	1名

介護福祉学科では介護福祉士として 12 名、医療ビジネス学科では 13 名 (医事課 9 名、総務課 2 名、診療支援課 1 名、株式会社 FMC1 名)、観光学科から 1 名 (介護職) 合計 12 名の学生がふれあいグループ入職を果たした。

次年度も引き続き、各学科ともグループへの入職を目指す。

介護福祉学科では技術力と実践力を現場実習で磨き、患者・利用者に信頼される介護福祉士の養成を目指す。医療ビジネス学科では必備資格と検定の保有数を増やし、即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。観光学科では福祉科目の充実を図り、グループの関連企業に応えられる人材の育成を目指す。

②休学者・退学者の撲滅

休退学者を出さないために入学前から卒業まで「進学相談」「生活指導」「学習指導」「キャリア指導」を継続的かつタイムリーに実施したが、完全な撲滅には至らなかった。

全退学除籍者のうち留学生の退学除籍者が多いことから、次年度は留学生に対して徹底した対策を実施する。

③魅力ある学校づくり～国家試験、民間資格取得に向けた取り組み

2019 年度から引き続き、合格率向上を目標として、ゼミ授業や検定対策及び日々の補習授業や資格

直前対策期間を設け、集中的に授業を実施しその結果、各学科・専攻の一人あたりの平均資格取得数は「(2) 資格取得」の通りとなった。

医療ビジネス学科では、診療報酬請求事務能力認定試験の合格率が25%となり、昨年の12.5%を上回った。観光学科ホテルブライダル専攻では一人当たりの取得資格数が11.6個(昨年9.4個)と大幅に増加した。

介護福祉学科では、全員が介護福祉士としての登録が完了した。

④実習施設との連携

広報活動における施設見学は、進路を決める高校生にとってのイメージアップと将来像につながる好企画であるため、継続して実施する予定であったが、新型コロナの影響で施設見学を実施することはできなかった。ただし、介護福祉学科の施設実習、医療ビジネス学科の病院実習では、多くの施設と連携を取ることができ、それがグループ施設への入職にも結び付いたと思料される。

⑤カリキュラム再編と指導力向上

全員就職を目標に、エンプロイアビリティを学生に身につけるために全教職員が学生指導に関わり、授業～就職活動～卒業まで一貫した指導内容の充実を図った。

- ・自立した社会人に必要とされる専門スキルと社会人基礎力向上を図り、グループ理念の実践者になるための教育指導を展開した。
- ・学生各人の能力に応じた指導目標を設定し、個別にキャリアカウンセリングを行った上で、就職に活かせる専門技術を身につけさせた。
- ・医療従事者をはじめとする各学科における専門性を身につけるためのカリキュラムと指導を展開し、資格取得対策に力を注いだ。
- ・技術及び能力の顕在化を図った(資格取得、就職先内定など)。

上記4項目を学生が実感できる力を養うべく、各種行事や授業などを実践的に取組んだ。その結果として、コロナ禍にもかかわらず、全学科(日本人)の就職率は就職希望者45名に対し、内定者44名で97.8%(2019年度95.1%、2018年度96.1%、2017年度94.5%)となった。

2021年度においても引き続き以下の取り組みを実施する。

- ①全員就職に向けて指導強化(就職対策ゼミ授業の実施・個別指導強化)
- ②グループへの就職をより一層促すための取り組み(カリキュラム、グループの魅力を伝達、人事との連携など)
特に情報課と連携をして、情報処理技術者として就職を促すためのカリキュラムの見直しと指導強化を図る。医療経営も含めグループ入職のためのガイドラインを策定する。
- ③全員進級、全員卒業に向けて指導強化(学習の習慣化・講師との連携強化)。
- ④退学・除籍者を極力減らすための指導方法を検討し、実施する。
- ⑤各資格対策授業の充実(基礎学力向上の取組み・授業内容との連動・資格対策授業の強化) 上級資格の取得率を向上させる。
- ⑥医療ビジネス学科の病院実習および情報課へのインターンの準備の充実(事前学習の強化・グループ施設との連携)。医事ナビシステムの学内利用に向けた情報課との調整。
- ⑦介護福祉学科の施設実習の充実および初任者研修の開催(グループ施設との連携)
- ⑧学生定員確保(全教職員による活動強化) 広報活動の全面的見直し。課題点の抽出と改善。

高専連携を図り、学校認知度を向上させて学生募集の基盤を固める。

⑨FD（ファカルティ・デベロップメント）強化（授業担当可能領域の拡張）

教員の教育力を高め、質の高い学生の育成に努める。

⑩教職員の意識改革（全教職員が、意志を統一して最重要課題の目標を達成）

以上